

平成16年7月7日

茨城県教育委員会教育長 川俣 勝慶 殿

茨城県立高等学校入学者選抜方法協議会  
委員長 稲葉 節生

平成16年度茨城県立高等学校入学者選抜方法協議会における協議結果について

標記のことについては、下記のとおり報告します。

## 記

### 1 平成17年度茨城県立高等学校入学者選抜事務日程について

平成17年度茨城県立高等学校入学者選抜事務日程については、昨年度の入学者選抜方法協議会で報告された日程案の変更を基本的に必要としないことを確認したが、音楽科、美術科及び普通科体育コースで実施されている適性検査を、受験生の負担を軽減するとともに、検査結果を入学者選抜に利用する観点から、実技検査に移行することが望ましく、この移行に伴う選抜日程の変更を行うことが適当である。

したがって、平成17年度については、別添1「平成17年度茨城県立高等学校（全日制・定時制）入学者選抜事務日程表」のとおり設定することが望ましい。

### 2 平成18年度茨城県立高等学校入学者選抜事務日程について

茨城県立高等学校入学者選抜事務日程については、従来から、選抜事務処理を円滑に進めるため、中学校及び高等学校の学校行事等を考慮するとともに、私立高等学校の事情にも配慮しながら、定められているところである。

また、学校の年間計画の作成に配慮し入学者選抜事務日程を早めに発表するという観点に立って、次年度の日程について協議を行った結果、平成18年度茨城県立高等学校入学者選抜事務日程については、別添2「平成18年度茨城県立高等学校（全日制・定時制）入学者選抜事務日程表」のとおり設定することが望ましいと考える。

### 3 定時制課程における学力検査の弾力化について

定時制課程は、勤労青少年に教育の機会を与えることを目的として、現在まで重要な役割を果たしてきている。さらに、最近では、多様な生活歴や学習歴を持つ者の進学先としても重要な役割を担っており、定時制課程に寄せる県民の期待はますます高まっている状況にある。

したがって、定時制課程における学力検査については、受験生の多様な個性や適性をみるために、科目数を減らして面接を充実させることや作文を活用することにより、学校の状況に応じて弾力化が図れるようにすることが望ましい。その場合には、国語、数学、外国語（英語）の3教科の学力検査及び面接を実施することが適当と考える。作文については、各学校の実情に応じて、受験生の負担等を考慮し実施できるようにすることが望ましい。